

平成 29 年 11 月 6 日

報道関係者
出版関係者 各位

「津波の記憶を刻む文化遺産 ー寺社・石碑データベースー」 公開について

国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園 10-1)では、「津波の記憶を刻む文化遺産 ー寺社・石碑データベースー」を 2017 年 11 月 6 日(月)より公開いたします。

東日本大震災の被災地では、寺社が安全な避難場所として機能し、津波災害の記憶をとどめる石碑が安全確保に役立ったことなどが報道されてきました。こうしたことから、国立民族学博物館では、過去の災害の記録と記憶をとどめ、未来に向けた防災の糧とすべく、日本の沿岸部に遺されている、地震や津波災害の記憶を伝える寺社や石碑などの文化遺産をデータベース化しました。

このデータベースは、新たな情報を追記できる仕組みをもっています。沿岸部の地域の皆様をはじめ、関心を寄せていただいた皆様とともに新たな情報を追加し、このデータベースを成長させていきたいと考えています。

津波災害にかかわる文化遺産の情報の集積庫であるこのデータベースにより、東日本大震災の被災地の方がたはもちろん、日本列島に住むすべての人びとが津波災害の記憶をとどめるだけでなく、防災に役立ててくださることを願っています。



震嘯災記念 地震海鳴りほら津浪
青森県階上町

●「津波の記憶を刻む文化遺産 ー寺社・石碑データベースー」の概要 (平成 29 年 11 月 6 日時点)

・データベース掲載件数 289 件(全 11 都道府県)
(内訳)

碑 150 件
寺社 121 件
神社 21 件
寺院 8 件

・データベースの項目

所在地
建設時期
災害名称
災害発生時期
碑文
碑文縁起
碑のある神社縁起
建立時期
関連情報 等

- ・データベース制作
国立民族学博物館
- ・データベース制作担当者
吉田 憲司(国立民族学博物館長)
林 勲男(国立民族学博物館 教授)
日高 真吾(国立民族学博物館 准教授)
- ・データベース制作の基盤となったプロジェクト
国立民族学博物館リーダーシップ支援経費「東日本大震災等大規模災害に関わる人間文化研究」
人間文化研究機構機関研究プロジェクト「日本列島における地域文化の再発見とその表象システムの構築」
- ・URL
<http://sekihi.minpaku.ac.jp/>

碑 大震嘯災記念 津波の年代:昭和8(1933)年

宮城県本吉郡南三陸町戸倉字藤浜 保呂羽神社鳥居横



撮影日:2012-05-11 11:30:41

碑文 大震嘯災記念
碑文縁起(表) 昭和八年三月三日 大震嘯災記念 地震があつたら津波の用心

緯度・経度情報



Leaflet | Map data © OpenStreetMap contributors, Imagery © Mapbox

データベースの画面イメージ